

制限行為・開発行為に関する下水道施設のチェックリスト【射水市下水道工務課】 R4年12月作成

R5年1月適用

◎ 事前協議が必要です。下記を踏まえた計画としてください。

〔参照：「下水道施設計画・設計指針と解説」（社）日本下水道協会〕  
（ただし、市独自に設定している場合も有。） 1/2

項 目	備 考						
<b>□ 管渠</b>							
<p>□ 土被りは、1.0m以上とする。</p> <p>□ 掘削深が1.5m以上となる場合は、仮設材（土留）を使用し、掘削幅は、0.95m以上とする。</p> <p>□ 素掘りの場合の掘削幅は、原則下記のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">□ φ200</td> <td style="padding: 2px;">0.85m以上</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">□ φ150</td> <td style="padding: 2px;">0.80m以上</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">□ φ100</td> <td style="padding: 2px;">0.75m以上</td> </tr> </table> <p>□ 埋戻しの路床、路体は、RC-40 または流用土とする。</p>	□ φ200	0.85m以上	□ φ150	0.80m以上	□ φ100	0.75m以上	<p>・発生土利用基準</p> <p>路床 第2種建設発生土 コーン指数 800 以上</p> <p>路体 第3種建設発生土 コーン指数 400 以上</p>
□ φ200	0.85m以上						
□ φ150	0.80m以上						
□ φ100	0.75m以上						
<b>□ 本管</b>							
<p>□ 本管はリブ管とし、口径は付近既設管と同様とする。</p> <p>□ 本管の勾配は、下記のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">□ 本管φ200</td> <td style="padding: 2px;">2‰</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">□ 本管φ150</td> <td style="padding: 2px;">3‰</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">（満管流速 0.6～3.0m/sec 以内）。</p> <p>□ 管基礎は、RC-40 とし、管上0.1m、管下0.1mとする。</p>	□ 本管φ200	2‰	□ 本管φ150	3‰	<p>・施工する管径は市で確認すること。</p> <p>・本管の最低の径の規格は下記のとおりとする。</p> <p>市街化区域 φ200</p> <p>市街化調整区域 φ150</p> <p>区域をまたぐ場合 φ200</p>		
□ 本管φ200	2‰						
□ 本管φ150	3‰						
<b>□ 取付管</b>							
<p>□ 最小土被りは、1.0m以上とする。</p> <p>□ 取付管はVU管とし、口径は下記のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">□ 本管φ200</td> <td style="padding: 2px;">φ150</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">□ 本管φ150</td> <td style="padding: 2px;">φ100</td> </tr> </table> <p>□ 取付管の勾配は、2‰以上とする。</p> <p>□ 支管は簡易取付型（メカロックタイプ）を使用すること。</p> <p>□ 接続部は、ゴム輪受口を使用すること。</p> <p>□ 管基礎は、砂とし、管上0.1m、管下0.1mとする。</p> <p>□ 取付間隔は、1.0m以上とすること。</p> <p>□ 下記のいずれかに該当する場合、マンホールへの接続は原則禁止とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本管から取付管が接続可能</li> <li>○ 本管の管路延伸がある場合</li> <li>○ マンホールへの接続に伴い、管路の清掃・点検等が困難となる場合</li> <li>○ マンホールへの接続により、マンホール構造に支障が発生する場合</li> </ul>	□ 本管φ200	φ150	□ 本管φ150	φ100	<p>・メカロック支管は管頂120° 以内に取付すること。</p> <p>・やむを得ずマンホールへ取付管を接続する場合は、理由書を提出し、下水道工務課の承諾を得ること。</p> <p>（土被り・勾配の確保が困難など）</p>		
□ 本管φ200	φ150						
□ 本管φ150	φ100						

<input type="checkbox"/> マンホール	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> マンホール間の最大距離は、75mまでとする。</li> <li><input type="checkbox"/> マンホールと本管の接続には、可とうマンホール継手を使用すること。</li> <li><input type="checkbox"/> ステップが0.6m以上となる場合は、内副管を設置すること。</li> <li><input type="checkbox"/> マンホール深が2m以上となる場合は、ロック付転落防止梯子を設置すること。</li> </ul>					
<input type="checkbox"/> 小口径マンホール	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 連続使用は禁止する。</li> <li><input type="checkbox"/> 会合部での使用は禁止する。</li> <li><input type="checkbox"/> 管底高に段差を設けないこと。</li> <li><input type="checkbox"/> 交通量の多い箇所（旧A交通以上）には設置しないこと。</li> <li><input type="checkbox"/> 小口径マンホールとマンホールとの最大距離は、50mまでとする。</li> </ul>					
<input type="checkbox"/> マンホール蓋	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> マンホール蓋は射水市章入りで、下記のとおりとする。           <table border="1" data-bbox="312 992 890 1093" style="margin-left: 20px; width: 100%;"> <tr> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 歩道、車道(幅員5m未満)</td> <td style="padding: 2px;">T-14</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 車道(幅員5m以上)</td> <td style="padding: 2px;">T-25</td> </tr> </table> </li> <li><input type="checkbox"/> 除雪路線は除雪対応型にすること。</li> <li><input type="checkbox"/> 交差点部は耐スリップ型とすること。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 歩道、車道(幅員5m未満)	T-14	<input type="checkbox"/> 車道(幅員5m以上)	T-25	<p>・市に確認すること。</p>
<input type="checkbox"/> 歩道、車道(幅員5m未満)	T-14					
<input type="checkbox"/> 車道(幅員5m以上)	T-25					
<input type="checkbox"/> 公共樹	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 設置位置は、隣地境界から1m以上、公道境界から1m以内とする。</li> <li><input type="checkbox"/> 小口径汚水樹φ200VUとし、射水市章入りの蓋とする。</li> <li><input type="checkbox"/> 車両が乗る可能性がある場合は、荷重に応じた鋳鉄製蓋にすること。</li> <li><input type="checkbox"/> 深さは、接続側道路からH=1.0mを基準とする。</li> <li><input type="checkbox"/> 深さは、敷地面積を考慮（排水管最小土被り20cm、管路勾配2%、3cm段差付樹等）し、計画すること。</li> <li><input type="checkbox"/> 深さがH=1.2m以上となる場合は、ドロップ型を使用してもよい。</li> </ul>					
<input type="checkbox"/> その他	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 既設の下水道施設に接続する箇所については、制限行為申請書を提出すること。（提出先：下水道工務課）</li> <li><input type="checkbox"/> 既設下水道施設を撤去または変更する場合も、制限行為申請書に記載すること。</li> </ul>					